

仰木の里学区自治連合会会長 様

謹啓

年末のお忙しい中、誠に恐縮に存じますが、このたび私たち北大津まちづくりネットワークより、仰木の里学区自治連合会会長様に至急に以下ご依頼したい旨があり不躰ながらご連絡申し上げます。

ご承知のように、本年10月以降、幸福の科学学園が仰木の里東2丁目を含む近接地域に約8万ヘクタールという大規模な土地をUR都市再生機構から取得し、学校建設を計画していることは、新聞、週刊誌、テレビ等で報道されているとおりです。

しかしながら、この仰木の里を含む北大津のまちは、閑静な住宅地として穏やかに発展してきたところで、大津でも有数の閑静な街並みと景観を誇る地域となっております。その真ん中に、これまでの街の雰囲気と大きく異なる学校が大きな規模で展開することは、この地域の生活環境と地域のイメージを一変させ、また地域住民とのトラブルも予想され、これまで自治連合会並びに住民、都市再生機構（UR）が行ってきたこの地域のまちづくり方針に反していると考えます。このことは、大津市が作成した仰木地区の地区計画に照らしても大変懸念されるどころです。

また、この中高一貫の学校法人は、特定の信者の子弟のみを対象とする教育が行われるようで、私たち地域住民にとって公益性はきわめて乏しく、まちの賑わいをもたらすものとは決しいえないものと考えています。

このような観点から、私たち北大津まちづくりネットワークは、閑静な住宅地および商業地として穏やかに発展してきた滋賀県大津市の北大津地区において、景観や文化、住民の生活環境に調和した良好なまちづくりを推進することを目的として仰木の里学区を含む北大津地域のまちの望ましい発展を目指し、貴仰木の里学区自治連合会該当地域の住民が中心となり2010年12月12日に設立いたしました。

設立会ならびに同時に実施した北大津のまちづくりを考える集いには、約300人以上の住民の方々が集まり、関心ある多くの方々から当該学園建設計画に対する疑問や、計画を白紙に戻しあるべきまちづくりを考えるべきとする意見等が次々と出され、現在もメンバーは漸次、拡大しつつある状況で、反対署名も急速に広がっております。

当ネットワークではこれら住民の声を受けて、今後、幸福の科学学園、大津市、滋賀県、URなどに学校建設反対のために働きかけていくことを方針として決定いたしています。

また、私たちは、地域のまちづくりは地元の自治会と住民が率先して行うべきと考えております。とりわけ、多くの自治会が参加する連合自治会組織は、速やかに情報伝達を行うとともに地域住民の声をひろくくみ上げる大きな責任を担っておられるものと思われまます。

しかしながら、今回の学園の進出については、住環境の面で住民に大きな不利益が生じることが危惧されるにもかかわらず、事前に地元住民に説明や同意の努力がなされていません。住民の反対意思の声を結集することにより学園建設回避の手段が残されているにもかかわらず、無為無策により結果的に建設を受け入れることになれば当地区の将来に重大な禍根を残すことにもなりかねません。

そこで、自治連合会の皆様と、この件につきまして、私たちは是非早急に対話、あるいは協力、協議を行う機会を設けて頂きたくご連絡を差し上げる次第です。本件は緊急を要しており、何卒、当地区のため英明なるご判断をいただきますようお願い申し上げます。

誠に、お手数ではありますが、是非とも年内に、下記の宛先まで文書にてお返事を頂きますよう、何卒お願い申し上げます。

敬白

追記 なお、本書同様の協力の呼びかけについて、仰木の里学区内外の各自治会にもご依頼する所存です。併せてご理解を賜りますよう。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

2010年12月22日

北大津まちづくりネットワーク・自治連合会への協力呼びかけ人 (省略)